



# 国体を招くもの

その準備と心がまえ

昭和二十八年十一月熊本県に国体を呼びかけてからあしかけ五年、その間昭和三十年に日本体育協会の国体常任委員会で第十四回熊本開催が了承されましたが、その後いろいろの事情で一応白紙にかえされました。しかし本県では第十五回開催をめざし、本年五月二日、第十五回開催準備会事務局を設けて、これを開催準備委員会に拡大するために、当面の問題点を解決しなければなりません。

すなわち、1.開催地と種目の決定 2.開催地の施設費、運営費の予算案 3.プール建設の問題 4.実施未定の種目 5.募金計画等を各係で立案し会議を開き、或いは現地調査をして検討し、一応の成案を得ました。

事務局では八月二十八日準備委員会の常任委員に予定された方々に御参集をお願い、準備委員会のことを予め打合せ、九月二日熊本市公会堂で、第十五回国民体育大会開催準備委員会を開催、会則・委員・役員・十二月までの暫定予算等を決定し、会場地及び開催種目については常任委員会に一任、更に全体予算等については常任委員会で具さに検討することに

なりました。その後二回にわたり常任委員を開き会場地・予算案・募金方法等を審議しましたが、特に予算案等については更に小委員を選出して検討することになり、現在小委員会で開催地の負担額及び募金額等の問題を詳細に検討中です。

一方プールの新設については、県体育協会が中心となり、熊本城内レッド地区を敷地として南九州財務局に土地払下げの話をすゝめ、おゝかたの了解を得ています。レッド地区の払下げができれば、県体育協会が県と熊本市の保証を得て資金を調達し、プール建設をすることになると思っています。

国体の開催は本県の体育スポーツの振興ばかりでなく、生活を明朗化し、社会道徳を昂揚する絶好の機会であると同時に、広く観光・産業・文化の面においても全国の人々に紹介する機会であり、県民を挙げての祭典であります。熊本市では、早速準備委員会を結成して頂きましたが、他の開催予定地もそれぞれ準備委員会を設けて開催への諸準備を強力に推し進めて頂きたいと考えます。

熊本国体は昭和二十八年以来の懸案であり、熊本県民の総力を集めて是非とも成し遂げたい事業でありますので、これに県民皆さまのご協力を切に希望いたします。



火事だ！

# 危い子供の火遊び

秋の火災予防

昨年の県下の火災状況を見ますと、四六六件で前年とほぼ同じですが、一日一回以上は消防自動車のサイレンが鳴っていることになりました。

火災の原因は、油引火が一番多く五六件、火遊び、たばこ

はそれぞれ三二件、煙突二八件、焚火二四件、七輪二三件、その他の順で日常生活に直接関係のあるものが最も多く、更にその一つ一つを調べて見ますと、不注意によつて起きた所謂失火が四六九件で総件数の八三パーセント、不可抗力によるもの二七件で六パーセント、原因不明のものが一パーセントであります。

火災はまさに人災であるということがいえるようです。

ところで私達は火に対してそれ程不注意なんでしょうか。私達は他のどんな災害よりも火災を最も恐れ「火の用心」に心を砕いているつもりですが失火による火災は年々一つも減らず増える一方なのです。これは当然のことですが私達は火の性質を知り火の取扱いに注意し、少くとも自分の家から火を出さない心構へと準備が必要なのです。

特に失火のトップにある油引火は、この頃石油コンロ等の使用が盛んになり、炊事場でないところで使いその付近の危険なくすや、炭俵へ飛び火している例が多いようです。コンロの付近はよく整頓するようにし、取扱には充分注意して欲

しいものです。子供の火遊びはマッチを無断で取り出し、紙切れや枯草に火をつけて家を焼くことが多いようです。子供の火遊びには充分注意するとともにマッチ箱等は子供の手の届かない所に置くようにして戴きたいものです。タバコの火による大火の例は多く、寒い日の夜、人の捨てたたばこのすいがらを踏み消して行くような公徳心があれば喫煙原因の火災もうんと少なくなることでしょう。

このように火災の原因は日頃よく注意しておれば防止できるのが多いのです。

(消防課)

# 来

春四月行われる予定の県会議員の選挙区が、十月の県議会で決まりました。

選挙区は二十四区で従来の十七区に比べてぐつとふえたわけですね。その理由は、今迄は郡市をひとまとめにした選挙区が多かったが、今度は公職選挙法の原則に従つて郡市を分けることになったのです。その為に、今年発足した新市も含めて県下十一市が全部単独選挙区となり、さらに本渡市の独立で分れた天草郡上島区と下島区が分れてそれぞれ単独選挙区を形成することになりました。

# 議

議員の定数の面では、人口増によつて全体の定員が一人増えて五十八議席、これを地域的に見ますと、城北では熊本市三人、阿蘇郡一人が増加、菊池郡二人、飽託郡一人の減となり、城南では八代水俣両市の各一人増で、逆に上益城、八代両郡と天草地区が各一人減となります。

# 県議選挙区の新定数

選挙区名	定数	旧定数
1 荒玉	2	2
2 玉玉	2	3
3 山鹿	3	0
4 鹿野	0	3
5 阿蘇	4	8
6 熊本	3	4
7 熊野	3	3
8 熊谷	0	2
9 熊川	3	3
10 熊上	2	3
11 熊下	3	2
12 熊中	2	1
13 熊左	2	1
14 熊右	2	3
15 熊前	3	3
16 熊後	2	1
17 熊東	2	1
18 熊西	2	3
19 熊南	3	2
20 熊北	1	1
21 熊南	2	3
22 熊北	2	1
23 熊南	2	1
24 熊北	1	1
【計】	58	57

# 県議の新選挙区が決りました

### 秋の観光こよみ

主な行事	(期日)	(行事名)	(場所)
十一月一日	松井神社例祭	八代市	
〃 八日	岡田神社例祭	球磨郡	
〃 十日	金比羅神社例祭	宇土郡	
〃 十四日	千人塚慰霊祭	三角町	
〃 十五日	浅井神社例祭	本渡市	
〃 十六日	どっこい祭	八代市	
〃 十七日	八代神社例祭	湯前町	
〃 十五日	塩屋八幡宮例祭	八代市	
〃 二十五日	松尾神社例祭	八代市	
〃 二十九日	鹿本村	鹿本村	
〃 十月下旬から十一月月上旬	八代郡宮原町立神峽	八代市	
〃 上益城郡水原市	水原市		
〃 球磨郡水原市	水原市		
〃 菊池郡水原市	水原市		

# 山火事

森林資源の急速な需要増加にともなつて、伐採に次ぐ伐採で、県内の森林は全く、荒廃林と化しました。戦後の緑化運動と、計画造林の実行によつて、禿山も今まではあまり見れなくなりました。そして雑木地や原野のすみずみまで、緑の樹々が勢よく成長を始めています。しかし、このような広大な森林と原野をもつ熊本県にとって一番注意しなければならないものは山火事です。32年度の山火事は発生67件、損害額約872万円にものぼっています。これらの原因を調べてみますと、そのほとんどが、焚火とか煙草とか火入とか一寸した火の取扱の不注意から、大きな損害を出しているのです。晩秋から初冬にかけて、原野の火入と造林地地帯が各地に行なわれますがこれも又火災の大きな原因となっています。又、自然の山川に親しむハイカーの何げなく捨てた煙草の残火から、再発火する火災も、決して少なくありません。今年も11月1日から11月30日までの1ヶ月間、秋期林野火災防除運動が展開されますが、この際、みんな協力の力で緑の山を一時に灰にする恐ろしい山火事を防止したいものです。

